



広島県  
広島市  
**広島HARTクリニック**  
**向田 哲規 先生**

1985年高知医科大学2期生として卒業し1985年に同大学産婦人科医局入局。不妊治療・体外受精の研究・臨床の研鑽を積むため、1987年アメリカ・マイアミ大学生化学教室での基礎研究と体外受精プログラムでの臨床経験を積み、1990年から5年間、NY・NJ州のダイヤモンド不妊センターで更なる研鑽をつみ、それらの経験を生かすためART治療専門である広島HARTクリニックに1996年より勤務し、現在院長として臨床に携わっている。広島HARTは、体外受精に特化し高いレベルの個別化した不妊治療を目指しており、近年話題の卵巣予備能力の指標となり得るAMH値を、バックマン社製・アクセス2という迅速にホルモン値を測定する機器、安全管理システム、より生存性の高いICSI技術、高精度の倒立顕微鏡などを導入しています。今後はネット予約・呼び出しシステムの導入、より広い施設への移転も企画し、患者さんへの利便性、診療レベルの更なる向上のため進化・発展していく予定です。

# 変性卵の割合が高く、 原因がわかりません。 精神的にもつらいです

相談者 うるさん(35歳)からの相談

## ▶変性卵が多すぎます

不妊歴4年です。主人に悪いところがなく、私も多少プロラクチンが高い程度で重大な問題もないのですが、なかなかできません。染色体検査もしましたが異常ありません。去年からふりかけの簡易IVFを始めました。3回行ってすべて陰性で、現在4回目を始めているところです。1回目は3個中2個変性卵、1個桑実胚移植。2回目は4個中1個変性卵、1個空胞、2個胚盤胞(うち1個はハッチングあり)2個移植。3回目は4個中2個変性卵、1個未成熟卵、1個桑実胚移植。4回目7個中1個未成熟卵、1個空胞、2個変性卵、残り3個まだわかりません。誘発方法はすべてクロミッド®とHCG。変性卵が多いのですが、成熟するものはすべてグレード1です。やはり年齢のせいなのでしょうが? このままでは凍結法も効率が悪く、行えないといわれています。治療後の体重増加も気になっています。

▶まず、高プロラクチンであるという事は、不妊の原因になるのでしょうか?

向田先生 ●高プロラクチン血症により生理周期が不規則になったりする場合それが不妊の原因となり得ますが、この症例においては適切な排卵誘発管理による体外受精を治療法として選んでいるので、著しく高い場合を除いて問題になることはないと思われます。

▶うるさんは4回すべて、変性卵の割合が高いようです。これまでの治療内容をどう思われますか?

向田先生 ●35歳で165cm65kgというのは、やや肥満体型のようです。体外受精に伴う排卵誘発目的のホルモン剤投与では、軽度の体重増加は見られますが、それは水分貯留が中心ですので、治療が終わり生理になると改善されます。生理周期は25〜27日型とのこと、PCO(多嚢胞性卵巣)ではないと思われませんが、PCOのような卵の質に問題がある症例と思われれます。

改善できるとすれば誘発方法が、クロミッド®とHCGのみの繰り返しで、採卵数がいつも5個以下である点です。35歳で平均的なAMH値(卵巣予備能力)の症例の場合、適切な排卵誘発を行えば10〜15個の採卵数になると思われれます。マイルドな誘発方法で行うこと自体に問題はないのですが、変性卵の割合が多いという経緯で、2回目、3回目の採卵に臨むのであれば、採卵数を増やし質的な変化も期待して、誘発方法を変更すべきです。

▶では、うるさんに今後の治療のアドバイスをお願いできますか?

向田先生 ●AMH値や、卵巣の反応性に関する情報がないので、明確なアドバイスはできませんが、その周期の卵巣の状態から毎回適切な誘発法を選ぶ必要があります。ART治療にはいろいろな選択肢があるので4回とも同じ誘発方法というのは、その良さを生かしていないと思われれます。まずマイルドな方法

であるクロミッド®とHCGのみから始め、良い結果にならなければ、より積極的な方法を用いて、10〜15個採卵して、確率を高める必要があると思います。

変性卵が多いのは、体質に関係しそれが不妊原因である可能性があります。偶発的にその周期のみに見られることもあります。変性卵をなくす方法を考えるより、変性卵以外の正常卵を一つでも多く得るようにすれば十分であり、最終的に妊娠を得るには一つ良い受精卵が得られれば可能です。また初期胚や桑実胚で移植または凍結保存するのではなく、胚盤胞になった胚のみを移植することで妊娠率を高めるようにする必要があります。だからこそ、より多くの卵子を採卵するために誘発方法を工夫するべきです。たとえば2個胚盤胞が得られる周期であれば、1個は新鮮胚移植を行い、1個は凍結保存するのが適切と思われれます。凍結胚移植の妊娠率のほう、一般的に新鮮胚移植の妊娠率より高く、現在日本においては、ART治療で出生する全出生児の7割以上は凍結胚移植によって得られています。今後は誘発方法を変更してより多くの卵子を採り、積極的に凍結胚移植を試みてはいかがでしょうか。

clinic data

**広島HARTクリニック**

☎ 082-244-3866

<http://www.hiroshima-hart.jp/>



●住所

広島県広島市中区大手町 5-7-10  
アクシースビル 3F

●アクセス

JR 広島駅、JR 西広島駅から  
路面電車「たかのばし」電停下車  
徒歩3分、鷹野橋商店街のすぐ南